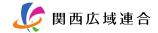
関西広域連合構成府県・市政記者クラブ配布



資料提供					
月日		発表者	問い合わせ先		
			電話番号	担当者	
令和 4 年10月 5 E 午前10時	3(水)	関西広域連合広域環境保全局 (滋賀県総合企画部CO ₂ ネットゼロ推進 課)	077-528-3091	事務官 間野 智也	

「関西脱炭素フォーラム 2022」の開催について

関西広域連合にて令和3年11月に行った「関西脱炭素社会実現宣言」に基づき、関西全体で住民、事業者、団体および行政が脱炭素社会の実現に向けた行動を主体的に行う機運を醸成するためのフォーラムを下記のとおり開催します。

開催に当たっては、経済産業省および環境省、関係する公共団体、関係機関と連携、協力して実施しています。

記

1 目的

持続可能な脱炭素社会を実現するためには、住民、事業者、団体など多様な主体の連携が重要であり、その機会を設け、モデル的な取組として全国に発信するとともに、実践行動の促進を図る。

2 後援

近畿地方環境事務所、近畿経済産業局、公益社団法人関西経済連合会

3 日時

令和4年11月26日(土) 11時~16時30分

4 開催場所

マイドームおおさか 1階 展示ホール (大阪府大阪市中央区本町橋2-5) ※ 一部講演についてはハイブリッド形式での開催とする。

5 募集

本フォーラムにブース出展する事業者・団体及び参加者を募集します。

① ブース出展事業者・団体の募集

募集定員:事業者・団体 20社/団体程度

募集期間:令和4年10月5日(水)~10月31日(月)

② 公演参加者

募集定員:100名程度

募集期間:令和4年10月5日(水)~11月18日(金)

参加者(想定)

- ・関西エコオフィス宣言事業所
- ・6 府県(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、徳島県) の推進員等

- 一般個人、企業等
- ・構成府県市(上記6府県および京都市、大阪市、神戸市、堺市)職員
- ※ 出展ブースのみの参加については事前申込み不要です。

6 内容(予定)

A 講演スペース

【第1部】

16:30

11:00	開会			
11:00~11:20	挨拶・フォーラム概要説明			
11:20~12:00	基調講演 環境省からの報告			
【第2部】				
13:00~13:30	基調講演 再生可能エネルギー導入等に関する講演			
13:30~14:00	事例発表 地域活動者からの報告			
【第3部】				
14:15~14:45	事例発表の次世代自動車製造関係事業所からの報告			
14:45~15:15	事例発表 関西エコオフィス宣言事業所からの報告			
【第4部】				
15:30~16:30	パネルディスカッション			

※ 詳しくは別添チラシをご参照ください。

B ブース出展スペース

事業・活動内容を紹介するブースの設置

閉会

出展者:申込みのあった関西エコオフィス宣言事業所、団体、国・構成府県市 約20団体

- C 次世代自動車展示スペース EV車の展示、充電等のデモンストレーション
- D 中小企業等向け省エネ相談コーナー

7. HP リンク

https://www.kouiki-kansai.jp/koikirengo/jisijimu/kankyohozen/info/7284.html



関西脱炭素フォーラム2022

関西広域連合では令和3年11月に「関西脱炭素社会実現宣言」を発出し、 1周年を迎えます。

関西全体で住民、事業者、団体および行政が脱炭素社会の実現に向け た行動を主体的に行う機運を醸成し、オール関西として取組みを進め るため、「関西脱炭素フォーラム 2022」を開催します。

参加曹

11:00~16:30

マイドーム大阪

大阪市中央区本町橋2番5

本フォーラムでは、2050 年カーボンニュートラルの 実現に向けて、国のエネルギー政策の動向、再生可能 エネルギーを活用した地域の活性に取組む団体や業界 の先頭に立ち脱炭素社会の実現を目指す企業の取組に ついて情報共有を図ります。

プログラム・※基語環論・事例紹介の出席には事前申込みが必要です ※風景交流プースは事前申込み不要でご覧いただけます

11:00~11:20 一主催者開会挨拶

11:20~12:00 一基調請演①

福嶋 慶三氏(環境省近畿地方環境事務所 環境対策調査)地域型炭末創生率長 「地域脱炭素に向けた国の動き」

13:00~13:30 - 基調購渡②

木村 啓二氏 (大阪産業大学経済学部名構造/公益県伍法人の第1ネルドー県団神芸研究局) 「脱炭素経済への移行と地域」

13:30~14:00 一事例紹介①

伊東 真吾氏 (株式会社コープエナジーなら)

「地域と連携した再エネ・電力事業の課題と展望!

14:15~14:45 一事例紹介②

透蔭 和支任 (回至台灣半井丈会社 日本辛肃広報等外部 部長)

「脱炭素化への電気自動車(EV)の貢献と活用事例:

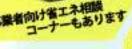
14:45~15:15 一事例紹介③

吉澤 正人任 (タイキン工業株式会社(5%・地帯環境センター指導運動)

「ダイキン工業の"カーボンニュートラルへの挑戦"」

15:30~16:30 ーパネルディスカッション (上記、全登壇者)

16:30 一開会



「開催金町」 納の 12 号はじから 牧争を分

「海豚車等」 語の 1 母記 (から 歌中 6分)

■Cuaia Metro 谷町輸

「併有者工具」駅の4号は口がも最多7分

国内设备

「大学権」製の製造を口がら使うなが



申込み・間い合わせ

下記サイトの申込フォームより必要事項を犯入の上、お申込みください。 https://www.kouiki-kansai.jp/koikirengo/jisijimu/kankyohozen/info/7284.html

申込期限

令和4年11月18日(金)

会場定員 100 名

スマートフォンでの+ お中し込みはこちらから ■ 3



※展示交流プースに出展いただける企業・団体もあわせて募集しています。 ※一部講演については、オンラインでの参加もできるように顕整しています。 詳しくはホームページでご確認ください。

主催・問合せ先

関西広域連合広域環境保全局(被貿県総合企業部 CO2 ネットゼロ推進課)

〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目 1-1

TEL: 077-528-3091 FAX: 077-528-4808

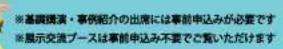
E-mail: cg02@pref.shiga.lg.jp

関西広域連合は「要西股炭素社会実理宣言に基づき、脱炭素社会の実現に向けてオール関西で取り組みを進めます。



滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、 鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市

後援:近畿経済産業局、近畿地方環境事務所、公益社団法人関西経済連合会



プログラム詳細

11:00~11:20 主催者開会挨拶



11:20~12:00 基調騰濱①

「地域脱炭素に向けた国の動き」

福橋 塵三氏(環境省近畿地方環境事務所 環境対策課長/地域脱炭素創生業長) 2002 年職培省入省。地球環境局難務額、地球温暖化対策義等で、気候変数の因为対応や国際 交渉に従事。その後、内閣官房構造改革特区・地域再生輸進常、内閣官房議長官補密、貝庫 **呉厄崎市等へ出向し、政府全体の政策とりまとめや、まちづくり及び南域原理解決に取り組む。** 本年4月より現職、英屋サセックス大学大学総環境開発政策修士。

13:00~13:30 基調體濟(2)



「脱炭素経済への移行と地域」

木村 専二氏(大阪産業大学経済学部准教授/公益財団法人自然エネルギー財団特任研究員)

2022 年より製職、専門は、福崎越済学、再生可能スネルギー政党論、専門は、福崎越済学、再生可能スネルギー政党論、 1979 年広島市生まれ、2007 年に立命数大学大学校団際関係研究科博士後期課程修了、博士(国際関係学)、主な著作・ 李線に、「拡大する世界の再生可能エネルギー」(共同観察、世界思想社、2011年)、「周辺のためのエネルギー開設」 (分担執筆、日本経済新聞川版社、2011年)「地域分散原エネルギーシステム」(分担執筆、日本評論社、2016年)など。

13:30~14:00 事例紹介①



「地域と連携した再エネ・電力事業の課題と展望」

伊東 真吾氏 (株式会社コープエナジーなら)

1970 年帝貞長生まれ、NPO 法人職員等を終て、2016 年より市民生活協問組合ならコープ子会社にて影響力事業 立ち上げ、小水力発電存業開発・運営等に採わる。これまでの主な策略として、京都浴地球起順化対策アクション プラン検討委員、総合養護エネルギー部合会名エネルギー基準部会園的委員、開西小水力利用指途協議会刑事など。 共善に「市民・地域共同発電所の作り方」(からがわ出版) など。

14:15~14:45 專例紹介(2)



「脱炭素化への電気自動車(EV)の貢献と活用事例」

達藤 和志氏(日産自動車株式会社日本事業広報渉外部部長)

1933年の創業以来「他のやらぬことを、やる」という精神のもと、様々な技術を世に送り出してきた。 2010 年に電気自動車 (HV)「日産リーフ」を発売し、世界累計販売自動は 60 万台を超えている。 10年以上に直も BV のノウハウと技術革新をベースに、クロスオーバー BV 「日底アリア」。 軽白動車EV*日産テクラ」を発売。国内メーカーとしては唯一、EVラインアップを積まている。また。 カーボンニュートラル宣言も行い、駅炭素化に向けた活動にも積極的に取り組んでいる。

14:45~15:15 事例紹介(3)



吉澤 正人氏(ダイキン工業株式会社 CSR・地球環境センター 担当課長)

DAIKIN

空間事業とファ車化学事業を主力とし、世界で唯一、空間と冷霧の両方を手掛ける動合空間メーカーです。開始技術を 店かした製品・サービスを世界 170 カ頭以上に提供しています。安全・安心で健康・快適な空気環境を提供しながら。 気候変動をはじめとした社会課題を解決しサステナブルな成長をめざしています。

■15:30~16:30 パネルディスカッション(上記、全登壇者)

16:30 開会